

TIME & ECOLOGY
AMANO



第94期 事業報告書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

証券コード 6436

 **アマノ株式会社**

財務ハイライト（連結／単独）

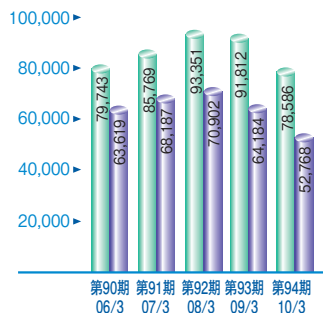
目次

財務ハイライト（連結／単独）	1
株主の皆様へ	2
新中期経営計画	3
営業概況	4
主要指標の推移	8
TOPICS	9
連結財務諸表	13
連結財務諸表作成のための 基本となる重要な事項	16
単独財務諸表	18
会社の概要、株式の状況	20
AMANOネットワーク	21

連結 単独

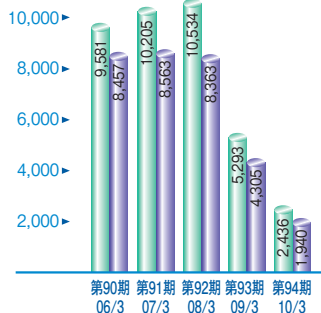
売上高

(単位:百万円)



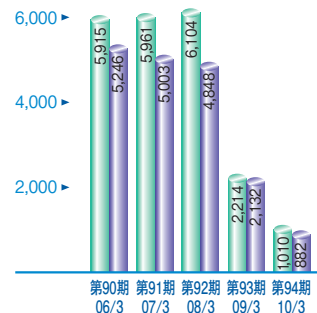
経常利益

(単位:百万円)



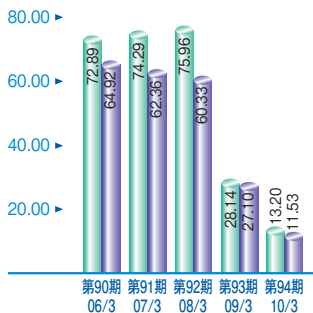
当期純利益

(単位:百万円)



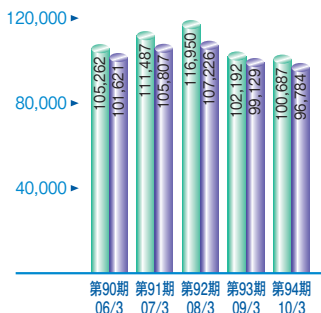
1株当たり当期純利益

(単位:円)



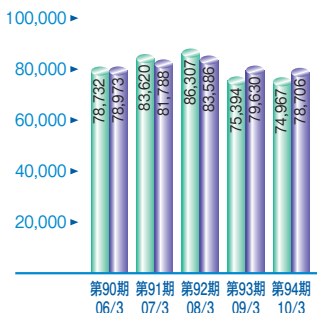
総資産

(単位:百万円)



純資産

(単位:百万円)



(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
※第91期より連結は少数株主持分を含めています

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに「第94期事業報告書」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社は、創業以来、「人と時間」、「人と環境」を企業テーマに掲げ、全事業活動の座標軸を顧客満足度におき、全社員がお客様の声を聞く「顧客第一主義」を基本方針としております。また、株主の皆様にとって魅力ある企業であるために企業価値（現在価値+将来価値）の最大化を図ることを経営の重点戦略としてまいりました。

当社は、平成20年4月から、連結成長戦略のもと持続成長と収益性向上を実現すべく新中期経営計画（3ヵ年）をスタートさせました。この計画実現に向け、当社および国内外のグループ各社は連携を一層強化し、各事業における市場・プロダクトのグローバル展開をはかり、総合提案ビジネスの拡大に注力しております。

当期の連結業績につきましては、お客様の設備投資抑制による需要減少の影響が当社の想定を大きく上回るものとなり、売上高・利益ともに、減収・減益となりました。

期末配当金につきましては、配当の基本方針および当期業績を勘案し、1株当たり13円とさせていただきます。

これにより、既に実施いたしました中間配当金1株当たり13円とあわせ、当期の年間配当金は1株当たり26円となります。

新年度の経営環境につきましては、中国などの新興国への輸出が増加基調を維持するものの、欧州経済の不安定要因や、雇用、設備の過剰感等を勘案すると、大変厳しい状況が継続するものと思われます。

このような経営環境の中で、当社およびグループ各社は、新中期経営計画に基づき、企業価値向上のため、全社一丸となってチャレンジしてまいりる所存でございます。

株主の皆様におかれましては、何とぞ倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

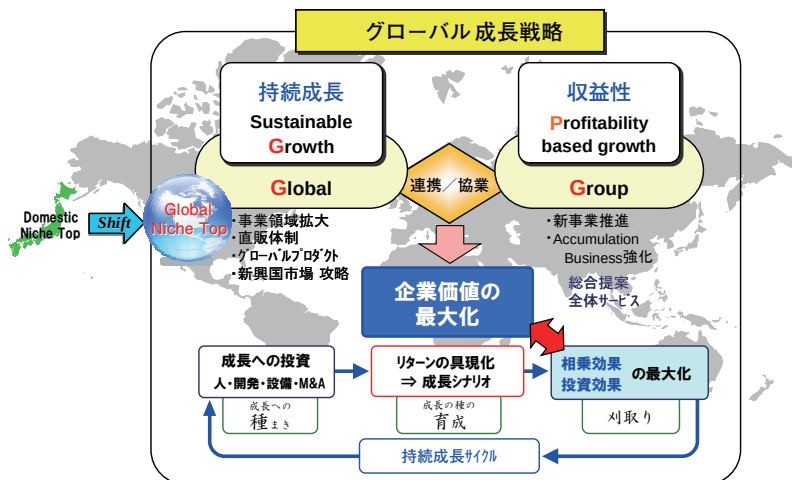


代表取締役社長

春田 薫

1. 基本方針

新中期経営計画は、「収益体質強化と持続的成長」を目指した前経営計画を踏まえ、新たにグループ会社となった米国のアマノ マクギャン社とフランスのホロス마트社を主軸に、米国・欧州におけるパーキングシステム事業、情報システム事業のグローバル展開を推進するとともに国内の事業拡大にも注力し、この達成に向けて、グループ各社一丸となって邁進してまいります。



当社及びグループ各社は、アマノグループ4つの不変戦略を継続しながら、時代の変化に対応し、変わり続けることを伝統としています。

- (1)TIME&ECOLOGYの事業領域重視／本業強化
- (2)得意な事業領域におけるニッチトップ
- (3)不断のリストラ
- (4)キャッシュ・フローをベースとした経営

この4つの基本戦略をもとに、「グローバル成長戦略」をコンセプトに平成20年4月から3ヵ年の「新中期経営計画」を策定いたしました。一昨年の秋以降、米国のサブプライムローン問題に端を発する国際的な金融危機が世界的な規模で実体経済に深刻な影響を及ぼし、本計画策定時点において想定していた経営環境が激変しました。

2. 数値計画

平成23年3月期計画は、当初設定いたしました数値計画を見直し、売上高831億円（前期比5.7%増）、営業利益32億円（前期比66.1%増）、経常利益35億円（前期比43.7%増）、当期純利益13億円（前年比28.7%増）といたしました。

●当期連結業績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、アジア諸国の経済成長等に支えられた輸出の伸びを背景に一部に景気回復の傾向が見られ、設備投資に底入れの兆しがあらわれてはいるものの、雇用・所得環境の低迷が続く等、依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境下において、当社グループは、新中期経営計画に基づく連結成長戦略のもと、市場・プロダクトのグローバル展開、総合提案ビジネスの拡大に取り組むとともに、徹底的な顧客ニーズの掘り起こしに注力し、また、全社一丸となって原価低減、販管費抑制に努めました。

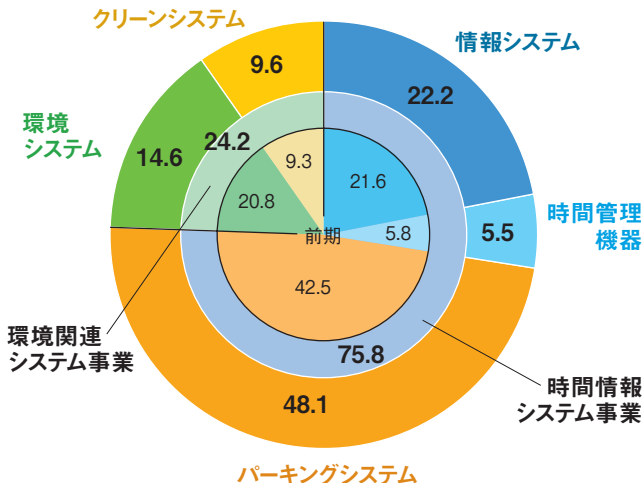
しかしながら、顧客の設備投資抑制による需要減少の影響は当社の想定を大きく上回るものとなりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は785億86百万円（前期比14.4%減）、営業利益は19億27百万円（同64.1%減）、経常利益は24億36百万円（同54.0%減）、当期純利益は10億10百万円（同54.3%減）となりました。

各事業部門別の概況は以下のとおりであります。

《事業部門別売上高構成比率》

（単位：％）



情報システム

就業・給与・人事・入室・食堂管理システム

当事業部門は、国内では、景気回復への動きが見られるものの、企業のIT投資抑制の影響により需要は低迷し、加えて市場競争激化などにより、事業環境は厳しい状況が続いております。一方、次世代のビジネスと言われるクラウド・コンピューティング対応へと業界が移行する動きも顕著になりつつあり、「システムを所有から利用する時代へ」と事業を取巻く環境は大きく変化しようとしています。

このような状況下、当社では、平成22年4月1日施行の「改正労働基準法」対応へのシステム更新需要やプログラム変更等の需要獲得に向け、プライベートセミナーの全国開催や既存顧客に対するソリューション提案など営業活動強化に注力してまいりました。また、市場のニーズに対応すべく、国内グループ会社との連携を強化し、ASP (Application Service Provider) サービスの需要拡大にも注力してまいりました。

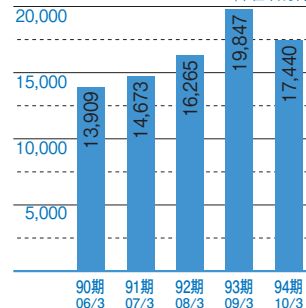
当期の実績は、前期に比べハードウェアは大型ソリューション物件の受注減少もあって12億92百万円減収（20.6%減）、ソフトウェアは2億39百万円減収（6.3%減）、メンテ・サプライは2億24百万円減収（7.0%減）となりました。なお、ソフトウェアは減収となりましたが、第4四半期において改正労働基準法対応に関わる需要が増加し、ソフト本数では前年比増となりました。分野別には、就業システムは14億13百万円減収（14.4%減）、入室システムは3億円減収（22.7%減）となりました。

海外の実績は、欧州はホロス마트社が現地通貨ベースでは増収と堅調に推移したものの、為替換算レートの変動により円ベースでは減収、北米、アジア地域も減収となり、海外全体では6億48百万円減収（前期比10.8%減）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は174億40百万円（前期比12.1%減）となりました。

●売上高の推移

（単位：百万円）



営業概況

時間情報システム事業

時間管理機器

タイムレコーダー・タイムスタンブ

当事業部門は、国内では新店舗の出店数減少や更新需要の低迷に加え、低価格機へのシフトなどにより販売台数の減少が続く、事業環境は厳しい状況が続いております。

当社はこのような市場環境に対応すべく、低価格で高機能をコンセプトとした新型タイムレコーダーや使いやすさにエコロジーをプラスしたPC接続式IC型タイムレコーダーを投入し、更新需要の喚起、新市場の開拓に注力してまいりました。

当期の実績は、国内は新製品投入が寄与したものの、前期に比べ輸出を含め5億45百万円減収（14.7%減）となりました。

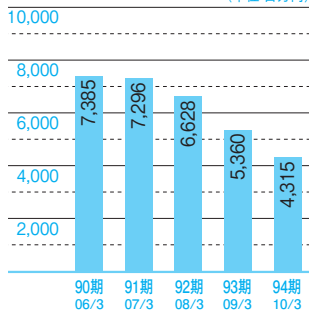
海外の実績は、北米、欧州、アジアいずれも需要は低調に推移し、海外全体では6億63百万円減収（前期比30.5%減）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は43億15百万円（前期比19.5%減）となりました。



PC接続式IC型タイムレコーダー
Time P@CK-iC

●売上高の推移 (単位:百万円)



パーキングシステム

駐車場・駐輪場管理機器・マネジメントサービス

当事業部門は、国内では、新車買い替え補助制度などの経済対策が自動車の販売台数回復の下支えとなる中、自動車利用率向上が駐車場の稼働率改善に繋がり、先送りとなっていた更新案件が再開するとともに、駐車場管理会社の不採算物件のスクラップ&ビルドが進んだことなどにより、新規、更新需要ともに緩やかな回復が続いております。

また、駐車場を取巻くビジネス環境は、温室効果ガス排出削減への取り組みや交通渋滞緩和を目的としたパークアンドライド駐車場設置への取り組み、カーシェアリングサービスの導入、電気自動車用充電スタンドの設置拡大など、車社会を反映した新しい取り組みが増加し、益々駐車場利用者のニーズに注目した駐車場経営が求められるようになってきております。

当社はこのような市場環境の中、駐車場経営の収益向上、効率化など顧客目線に立った提案活動の強化や国内グループ会社との連携によるソリューション提案を強化するなど、更新需要の掘り起こしに注力してまいりました。

また、「専用ゲートシステム市場」では、省力化・合理化提案に加え、安心・安全を目的とした新市場開拓にも注力してまいりました。

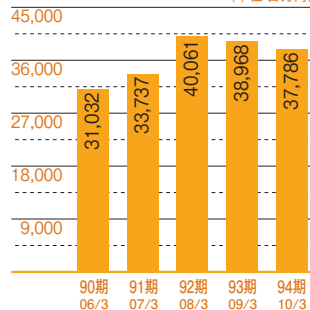
当期の実績は、前期に比べ駐車場・駐輪システム機器は、大型システム物件の受注減少により14億73百万円減収（10.4%減）となりましたが、メンテ・サプライは1億97百万円増収（2.4%増）となりました。

なお、グループ会社 アマノマネジメントサービス株式会社による駐車場管理受託事業の車室数は平成21年3月末に比べ24,400台増加（16.1%増）いたしました。

海外の実績は、北米、欧州は景気悪化により減収、アジア地域は韓国及びマレーシアが2桁伸長し増収となりましたが、海外全体では15億10百万円減収（前期比11.9%減）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は37億86百万円（前期比3.0%減）となりました。

●売上高の推移 (単位:百万円)



環境関連システム事業

環境システム

汎用集塵機・大型集塵装置・粉粒体空気輸送システム・
高温有害ガス除去システム・脱臭システム・電解水生成装置

当事業部門は、国内は製造業の設備投資抑制が続く中、液晶や半導体など電子機器関連分野においては需要回復が顕著となり、また設備投資凍結や先送りとなった案件が再開する動きも見られるようになりましたが、事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

当社はこのような市場環境の中、環境コンプライアンスにかかわる「安心・安全」対策として「粉塵爆発防止セミナー」や「省力化・コストダウン」提案活動など既存顧客に対する直販体制強化による需要回復に注力してまいりました。

当期の実績は、前期に比べ、大型システムは34億49百万円減収（46.0%減）、汎用機は25億84百万円減収（41.9%減）、メンテ・サブライは9億64百万円減収（25.5%減）と大幅減収となりました。

海外の実績は、アジア地域における日系企業の設備投資抑制が続き、受注が低調に推移したことにより、海外全体では4億69百万円減収（前期比40.6%減）となりました。

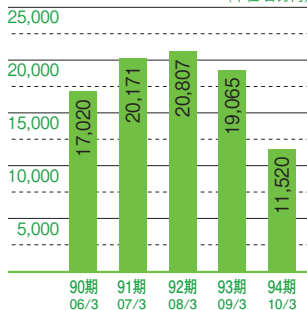
以上の結果、当事業部門の売上高は115億20百万円（前期比39.6%減）となりました。



粉塵爆発防止セミナー

●売上高の推移

(単位:百万円)



クリーンシステム

清掃機器・ドライケア清掃システム・清掃マネジメントサービス

当事業部門は、国内は商業施設関連の新規新店減少やファクトリー市場での設備投資抑制が続く中、清掃コスト抑制のために外注委託から自家清掃へと転換する動きも見られるようになりましたが、事業環境は厳しい状況が続いております。

当社はこのような市場環境の中、清掃コスト削減効果をより具体的な提案活動へと展開させるため、清掃機のデモンストレーション活動を全国展開し、需要回復に注力してまいりました。

当期の実績は、前期に比べ清掃機器はバッキング機の減少に加え、工場向け洗浄機が設備投資抑制の影響を受け減少したことにより4億22百万円減収（17.1%減）、メンテ・サブライは2億2百万円減収（6.3%減）となりました。

海外の実績は、北米は低調が続き減収、欧州・アジア地域も低調で海外全体では2億93百万円減収（前期比14.9%減）となりました。

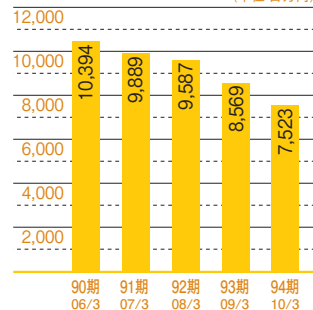
以上の結果、当事業部門の売上高は75億23百万円（前期比12.2%減）となりました。



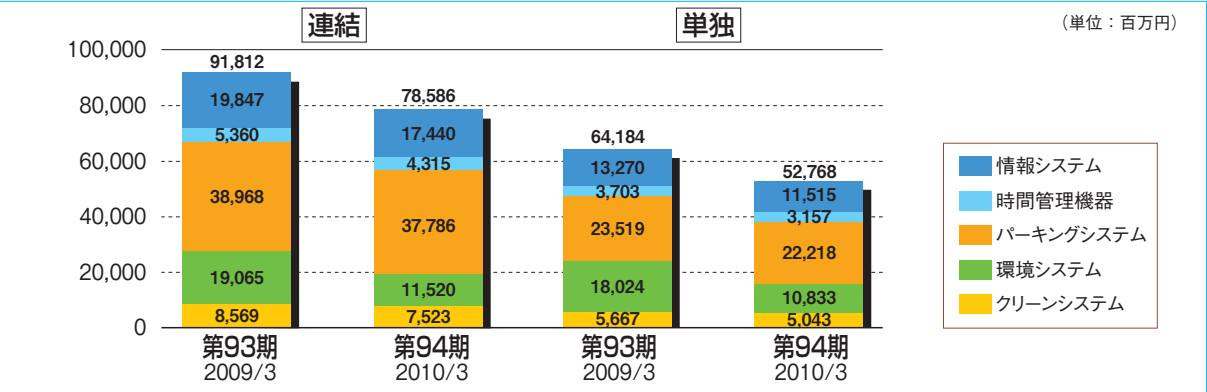
自動床面洗浄機 SE-430e

●売上高の推移

(単位:百万円)



●部門別販売の状況



区 分			第93期 2009年(平成21年)3月期		第94期 2010年(平成22年)3月期		増 減	
			金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	比 率 (%)
時間情報システム事業	情 報 シ ス テ ム	連結	19,847	21.6	17,440	22.2	△ 2,407	△ 12.1
		単独	13,270	20.7	11,515	21.8	△ 1,754	△ 13.2
	時 間 管 理 機 器	連結	5,360	5.8	4,315	5.5	△ 1,044	△ 19.5
		単独	3,703	5.8	3,157	6.0	△ 545	△ 14.7
	パーキングシステム	連結	38,968	42.5	37,786	48.1	△ 1,182	△ 3.0
		単独	23,519	36.6	22,218	42.1	△ 1,300	△ 5.5
	小 計	連結	64,177	69.9	59,542	75.8	△ 4,634	△ 7.2
		単独	40,492	63.1	36,891	69.9	△ 3,601	△ 8.9
環境関連システム事業	環 境 シ ス テ ム	連結	19,065	20.8	11,520	14.6	△ 7,545	△ 39.6
		単独	18,024	28.1	10,833	20.5	△ 7,191	△ 39.9
	クリーンシステム	連結	8,569	9.3	7,523	9.6	△ 1,046	△ 12.2
		単独	5,667	8.8	5,043	9.6	△ 623	△ 11.0
	小 計	連結	27,635	30.1	19,043	24.2	△ 8,591	△ 31.1
		単独	23,692	36.9	15,877	30.1	△ 7,815	△ 33.0
合 計		連結	91,812	100.0	78,586	100.0	△ 13,225	△ 14.4
		単独	64,184	100.0	52,768	100.0	△ 11,416	△ 17.8
内 輸出売上高		単独	2,583	4.0	1,591	3.0	△ 991	△ 38.4

(注) 金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

●連結決算

(単位：百万円)

	第90期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	第91期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	第92期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	第93期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	第94期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	79,743	85,769	93,351	91,812	78,586
営業利益	9,537	10,143	10,011	5,371	1,927
経常利益	9,581	10,205	10,534	5,293	2,436
当期純利益	5,915	5,961	6,104	2,214	1,010
1株当たり当期純利益	72円89銭	74円29銭	75円96銭	28円14銭	13円20銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	72円76銭	74円24銭	75円94銭	—	—
配当性向	35.2%	40.4%	44.8%	105.9%	197.0%
総資産	105,262	111,487	116,950	102,192	100,687
純資産(※)	78,732	83,620	86,307	75,394	74,967

(※) 第91期より連結は少数株主持分を含めています。

●単独決算

(単位：百万円)

	第90期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	第91期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	第92期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	第93期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	第94期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	63,619	68,187	70,902	64,184	52,768
営業利益	8,211	8,431	7,725	3,727	1,339
経常利益	8,457	8,563	8,363	4,305	1,940
当期純利益	5,246	5,003	4,848	2,132	882
1株当たり当期純利益	64円92銭	62円36銭	60円33銭	27円10銭	11円53銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	64円80銭	62円31銭	60円32銭	—	—
配当性向	39.7%	48.1%	56.4%	109.9%	225.6%
総資産	101,621	105,807	107,226	99,129	96,784
純資産	78,973	81,788	83,586	79,630	78,706

事業別活動報告

時間情報システム・時間管理機器事業

**■「所有」から「利用」へ
クラウドコンピューティング対応
『CYBER XEED 就業 / 人事 / 給与』**

今話題の“クラウドコンピューティング・サービス”とは、専用ソフトやネットワーク・サーバーを所有しなくても、Webブラウザからインターネット上のサーバーを利用した様々なアプリケーションソフトが利用できるコンピュータ処理サービスです。アmanoでは、勤怠管理や給与計算の処理業務を、インターネットを介して手軽に導入できるクラウドコンピューティング・サービス『CYBER XEED』を提供しています。業務をアウトソーシングする場合 ①顧客満足度の向上 (Customers Satisfaction) ②問題解決型の提案 (Consulting Solution) そして ③継続サービス (Continuous Service) の3つの“CS”が採用の決め手となりますが『CYBER XEED』は、「就業管理・人事情報・給与計算」アプリケーションのデータベース一元管理により、クラウド時代に対応した利用の最適化、サービスの高品質化を提供しています。

5月12日から3日間、クラウド・コンピューティングに関する業界待望の専門展『第1回クラウドコンピューティングEXPO』が東京ビッグサイトで開催され、グループ会社アmanoビジネスソリューションズ株式会社が『CYBER XEED』を出展し、多くのお客様から高い評価をいただきました。



『CYBER XEED 就業 / 人事 / 給与』

**■ICカード版タイムレコーダーパッケージ
『TimeP@CK-iC』
“エコ”をプラスした新しい勤怠管理**

PC接続式タイムレコーダーパッケージ『TimeP@CK』は、勤怠データをパソコンに取り込み、編集・集計業務を効率的に行い、市販の各種給与計算ソフトに連携し簡単に処理できるツールとして、好評をいただいております。今回、この『TimeP@CK』シリーズに、タイムカードの代わりにICカードを使用した新製品『TimeP@CK-iC』が加わりました。

簡便な使い勝手の良さは、これまでの『TimeP@CK』と同様ですが、『TimeP@CK-iC』で使用するICカード（社員証にもなります）に、タイムレコーダー業界では初のカーボンオフセット（CO₂排出削減クレジット）を付加いたしました。毎日の出退勤で使用するICカード一枚に2kg-CO₂のカーボンオフセット権利をつけて、『TimeP@CK-iC』使用により排出されるエネルギーCO₂換算の排出の一部を、ご利用いただくお客様に代わってアmanoが相殺（オフセット）するものです。ICカードは使用者にも“エコ”を意識することのできるデザインを採用しました。このようなカーボンオフセットを付加する商品やサービスは、最近徐々に増えて来ています。



カーボンオフセット付『TimeP@CK-iC』

パーキングシステム事業

■キーワードは“特定車両管理” 専用ゲートシステム市場で需要拡大

今、駐車場管理システムは一般駐車場だけでなく、“特定車両”の管理を対象としたゲートシステムの導入が進み、専用ゲートシステム市場の需要が拡大しています。例えば、大学構内では“職員・学生車両”の管理に利用されています。病院駐車場では一般外来者駐車場と区別した医師・職員専用駐車場確保のため“特定登録車両”の管理に利用されています。駅前では“登録タクシーの車両管理”に、また、高速道路料金所における職員の“安全確保”の手段として専用ゲートシステムが採用されています。さらに、事業場や研究所などの入門の際の“運行車両のチェック”やセキュリティ管理目的にも利用されています。このように、専用ゲートシステムは、「省力化」「合理化」を目的に、入場車両の制限・管理用途だけでなく、安全対策用途やセキュリティ確保の手段として需要に広がりを見せてきています。



特定車両ゲートシステム

■フラップ式駐車場 駐車券発行・精算システム フラップ式精算機と駐車券発行機が連動

フラップ式精算機と駐車券発行機が連動した新フラップ式精算システムが、神奈川県内の市役所に今年2月に導入されました。一般的に狭いスペースを駐車場として有効活用したい場合、ゲートのない比較的簡便なフラップ式が採用されます。フラップ式は、入庫時に車両が所定位置に駐車するとフラップ板が自動的に上がり、出庫時には精算機で駐車位置番号を入力して料金精算を完了するとフラップ板が解除される駐車方式です。市役所などへの来庁者が専用駐車場利用の際に発券される駐車券を、各課の窓口にて提示して利用サービス（割引処理）を受けます。従来のフラップ式駐車場では駐車券が発行されないため、このような割引サービスを受けることはできませんが、新フラップ精算システムを採用することで、一般ゲート駐車場とフラップ式駐車場の併用が可能となり、フラップ式駐車場利用者も駐車券割引サービスを受けることが出来るようになりました。また、車室番号を付加した駐車券を発行させることで、精算時の車室番号誤入力による間違いを防ぐことができます。



フラップ式精算機 FT-4800 フラップ用発行機 GT-2750

事業別活動報告

環境システム事業

■環境事業、アジア地域で拡大する
汎用集塵装置のニーズに対応

アマノは、これまでも環境商品のアジア地域各国（マレーシア、シンガポール、インドネシア、タイ、韓国、中国）で需要獲得に向けて、海外現地法人を設立し、市場を拡大してきました。特に中国では、日系企業の現地生産拡大に歩調を合わせて工作機械の需要が増加し、これに伴い現地工場に汎用集塵機を設置する需要も拡大してきています。このため、中国市場の需要獲得に向けては、① 現地への情報提供と新規顧客開拓・販売ルート開拓のための専門組織を設置し、② 現地法人を拠点とした販売・エンジニアリング・サービス体制をさらに充実強化しています。

■食品工業・製薬工業向け小型粉粒体空気輸送装置
『FPVシリーズ』とテストプラント

豆類・小麦粉等の食材や薬品原料の輸送は、一般粉体・粒体よりも衛生的・技術的配慮が必要です。アマノ小型粉粒体空気輸送装置『FPVシリーズ』は、粉・粒状の食品・薬品原材料を、空気の流れで輸送中に停留させることなく衛生的に輸送する装置です。装置本体は、工具不要で簡単に分解でき、衛生的に水洗い清掃ができます。細江事業所内の最新設備『粉粒体空気輸送テストプラント』では、一般粉粒体だけでなく、食品・薬品など異物混入を嫌う粉粒体向けのサニタリーラインのテスト輸送が増えています。これまで自動車、電気・機械、化学など数多くの事業場に環境商品を納入してきたノウハウをベースに、食品・製薬分野への販路拡大を積極的に推進いたします。



小型粉粒体搬送装置 FPVシリーズ



サニタリー用搬送テストライン

クリーンシステム事業

■スーパー機能付自動床面洗浄機で市場拡大

持ち運び可能な軽量・コンパクト機から、大型商業施設・工場・倉庫や空港・駅等公共施設など広い敷地の床洗浄を対象とした搭乗式機種まで各種自動床面洗浄機（クリーンバーニー）を幅広くユーザーに提供し高い評価をいただいています。

総合ショッピングモールや地域大手スーパー、ホームセンター等の商業店舗床（Pタイル・セラミック床・石材床）、工場などの硬質床（コンクリート塗り床）では、これまで洗浄前にダスタークロスで床面に落ちている毛髪・糸屑・綿ホコリ・ピンなどの塵埃を取り除き、その後で洗浄作業を行うという2工程を必要としていました。

今年2月発売のスーパー搭載モデル『SE-430eSW』は、床洗浄前のゴミ取り作業を床洗浄と同時にできるようにした専用ブラシ付自動床面洗浄機です。除塵と床面洗浄を1台の機械で同時に行うことにより、清掃工数削減・コストダウンに大きな効果を生む新しい自動床面洗浄機として、販売増が期待されます。

スーパー機能付自動床面洗浄機
SE-430eSW

国内グループ企業TOPICS

■豊富なノウハウで成長が続く 『アマノ駐車場管理・経営受託サービス』 アマノマネジメントサービス株式会社

アマノグループ会社「アマノマネジメントサービス株式会社」(以下、AMS)が運営する『駐車場管理受託』『駐車場経営受託』がサービス開始以来順調に実績を伸ばしています。

駐車場経営においては“運営の効率化”“収益の改善”がキーワードとなります。アマノはAMSとのさらなる連携強化により、駐車場経営トータルソリューション(『駐車場管理受託サービス』『駐車場経営受託サービス』)をお客様にご提供。お客様駐車場の運営・管理状況に応じた最適なサービスを実施し、駐車場管理コストの削減などお客様のニーズに合致したアドバイスを行っています。また、自治体駐車場の民間委託促進策として実施されている“PFI事業”や“指定管理者制度”等への取組みを強化させることにより、今後もさらに駐車場の『管理受託サービス』『経営受託サービス』の契約件数の拡大が期待できます。



AMSお客様さぽーとセンター

海外市場TOPICS

■Accu-Time Systems, Inc.社を買収、 米国の情報システム事業販路拡大へ

2010年2月、米国・コネチカット州に本拠を置くAccu-Time Systems, Inc. (以下「ATS社」)を買収いたしました。ATS社は、米国における時間情報及び就業管理に関わるターミナル機器製造・販売のリーディング・カンパニーであり、欧州にも販売拠点を持って事業展開しています。ATS社は、その良質な顧客基盤とともに、革新的で的確なソリューションを提供する会社として、高い評価を得ています。アマノは、このATS社が持つ多様な時間情報及び就業管理機器製品と、良質な顧客基盤をそのまま引き継ぎ、アマノが持つ就業管理・人事情報管理システムの販売チャネルとの相乗効果によって、米国における時間管理・就業情報事業拡大に向けて、一層のスピードアップとプレゼンス向上が期待されます。

■ Accu-Time Systems, Inc. ホームページ
<http://www.accu-time.com>



ATS社ホームページ (トップページ)

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	第93期		第94期	
	(平成21年3月31日現在)		(平成22年3月31日現在)	
流動資産	52,639	54,735		
現金及び預金	18,719	23,675		
受取手形及び売掛金	23,651	21,134		
有価証券	1,191	1,226		
商品及び製品	2,987	2,883		
仕掛品	539	685		
原材料及び貯蔵品	2,957	2,448		
繰延税金資産	1,313	1,105		
その他	1,477	1,790		
貸倒引当金	△ 199	△ 214		
固定資産	49,552	45,951		
有形固定資産	22,847	22,956		
建物及び構築物	10,975	11,921		
機械装置及び運搬具	1,543	1,300		
工具、器具及び備品	1,192	1,105		
土地	7,156	7,161		
リース資産	720	1,384		
建設仮勘定	1,257	83		
無形固定資産	13,536	11,901		
のれん	7,401	6,776		
ソフトウエア	4,357	4,174		
ソフトウエア仮勘定	1,145	278		
その他	631	671		
投資その他の資産	13,169	11,093		
投資有価証券	4,524	4,514		
長期貸付金	21	19		
破産更生債権等	464	530		
差入保証金	1,098	1,093		
繰延税金資産	2,598	2,333		
長期預金	2,114	533		
その他	2,802	2,542		
貸倒引当金	△ 455	△ 473		
資産合計	102,192	100,687		

負債の部	第93期		第94期	
	(平成21年3月31日現在)		(平成22年3月31日現在)	
流動負債	20,183	19,423		
支払手形及び買掛金	8,959	9,008		
短期借入金	43	19		
リース債務	173	476		
未払法人税等	688	679		
賞与引当金	1,667	1,639		
役員賞与引当金	5	8		
その他	8,645	7,592		
固定負債	6,613	6,296		
長期借入金	—	25		
長期未払金	932	541		
リース債務	719	1,231		
繰延税金負債	394	362		
退職給付引当金	4,207	3,883		
その他	359	252		
負債合計	26,797	25,719		
純資産の部				
株主資本	81,136	79,985		
資本金	18,239	18,239		
資本剰余金	19,567	19,567		
利益剰余金	47,044	45,895		
自己株式	△ 3,715	△ 3,717		
評価・換算差額等	△ 6,673	△ 6,083		
その他有価証券評価差額金	△ 303	△ 117		
為替換算調整勘定	△ 6,370	△ 5,966		
少数株主持分	932	1,066		
純資産合計	75,394	74,967		
負債純資産合計	102,192	100,687		

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額

前連結会計年度 (平成21年3月31日現在) 31,719百万円	当連結会計年度 (平成22年3月31日現在) 33,444百万円
--	--

連結損益計算書

(単位：百万円)

	第93期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	第94期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	91,812	78,586
売上原価	51,616	44,654
売上総利益	40,195	33,931
販売費及び一般管理費	34,823	32,004
営業利益	5,371	1,927
営業外収益	776	657
受取利息及び受取配当金	310	142
為替差益	—	53
その他	466	461
営業外費用	854	148
支払利息	37	30
為替差損	655	—
その他	161	117
経常利益	5,293	2,436
特別利益	309	17
固定資産売却益	13	4
投資有価証券売却益	12	0
退職給付制度終了益	281	—
その他	1	13
特別損失	880	88
固定資産除却損	131	24
投資有価証券評価損	576	56
投資有価証券売却損	44	—
関係会社出資金評価損	10	—
ゴルフ会員権評価損	11	—
特別退職金	45	—
損害賠償損失	36	—
その他	24	7
税金等調整前当期純利益	4,722	2,365
法人税、住民税及び事業税	2,263	938
法人税等調整額	77	249
少数株主利益	167	167
当期純利益	2,214	1,010

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー
計算書の要旨

(単位：百万円)

	第93期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	第94期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	6,232	9,064
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,453	△ 2,412
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 5,692	△ 2,382
現金及び現金同等物に 係る換算差額	1,423	△ 156
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 490	4,113
現金及び現金同等物の 期首残高	17,192	16,708
新規連結に伴う現金及び現金同等物の 増加額	—	110
連結子会社と非連結子会社との合併に よる現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6	—
現金及び現金同等物の 期末残高	16,708	20,932

- (注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2.現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

前連結会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)		当連結会計年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	
現金及び預金勘定	18,719 百万円	現金及び預金勘定	23,675 百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△2,011	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△2,742
現金及び現金同等物	16,708	現金及び現金同等物	20,932
営業の譲受けにより増加した資産及び負債の内訳			
流動資産	21 百万円		
固定資産	275		
資産合計	296		
流動負債	14		

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

当連結会計年度 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)										
	株 主 資 本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成21年3月31日残高	18,239	19,567	47,044	△ 3,715	81,136	△ 303	△ 6,370	△ 6,673	932	75,394
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 1,991		△ 1,991					△ 1,991
当期純利益			1,010		1,010					1,010
自己株式の取得				△ 1	△ 1					△ 1
連結範囲の変動			△ 168		△ 168					△ 168
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の 変動額 (純額)						185	403	589	134	724
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 1,149	△ 1	△ 1,151	185	403	589	134	△ 427
平成22年3月31日残高	18,239	19,567	45,895	△ 3,717	79,985	△ 117	△ 5,966	△ 6,083	1,066	74,967

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

1. 連結の範囲に関する事項

- (イ) 連結子会社の数
 主要な連結子会社名
- 28社
 アマノUSA ホールディングス Inc.
 アマノ シンシナティ Inc.
 アマノ パイオニア エクリプス Corp.
 アマノ マクギャン Inc.
 アマノ インテグレートッド システムズ Inc.
 アマノ ヨーロッパ ホールディングス N.V.
 アマノ ヨーロッパ N.V.
 ホロスマート S.A.
 アマノ マレーシア SDN. BHD.
 アマノ クリーンテック (M) SDN. BHD.
 アマノ タイム&エアー シンガポール PTE. LTD.
 安満能国際貿易 (上海) 有限公司
 アマノ コーリア Corp.
 (株)環境衛生研究所
 アマノ マネジメント サービス (株)
 アマノ メンテナンス エンジニアリング (株)
 アマノ ビジネス ソリューションズ (株)
 アマノ 武蔵電機 (株) 他
 安満能軟件工程 (上海) 有限公司
 アマノ・エコ・テクノロジー (株)
 エー・エス・イー R&D ヨーロッパ N.V.
 アマノ システムズ九州 (株)
 アマノ タイム ビジネス (株)
 アットパーク コリア Co., Ltd.
 タイム スタンプ ソリューション Co., Ltd.
 アマノ パーキング ヨーロッパ N.V.
 アマノ UK Ltd.
 Accu-Time System, Inc.
 以上10社
- (ロ) 非連結子会社の名称等

(連結の範囲から除いた理由)

非連結子会社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、当期純損益及び利益剰余金（持分に見合う額）等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。

2. 持分法の適用に関する事項

- (イ) 持分法を適用した非連結子会社及び関連会社の数……1社
 持分法を適用した関連会社の名称
 パーキンシス テクノロジー Co., Ltd.
- (ロ) 持分法非適用関連会社の名称……上海奇安機電設備有限公司
- (ハ) 持分法を適用していない非連結子会社（10社）及び関連会社（1社）については、いずれも当期純損益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため、持分法の適用から除外しております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

海外子会社の決算日は、12月31日であります。また、連結財務諸表の作成にあたっては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

4. 会計処理基準に関する事項

(イ) 重要な資産の評価基準及び評価方法

- ①有価証券
 満期保有目的の債券 …………… 償却原価法（定額法）
 その他有価証券 時価のあるもの…… 連結決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）
 “ 時価のないもの…… 移動平均法による原価法
- ②デリバティブ…………… 時価法
- ③たな卸資産…………… 主として総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

(ロ) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
 定率法（ただし、平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法）によっております。
 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。
 建物及び構築物 7年～50年
 機械装置及び運搬具 7年～17年
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
 定額法によっております。
 なお、当社の市場販売目的のソフトウェアについては、見込販売可能期間（3年）に基づく定額法、当社及び国内連結子会社の自社利用目的のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
- ③リース資産
 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
 リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっております。

(ハ) 重要な引当金の計上基準

- ①貸倒引当金
 売掛金、貸付金等の債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ②賞与引当金
 従業員の賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき、当連結会計年度負担額を計上しております。

③役員賞与引当金

役員の賞与の支出に備えるため、当連結会計年度における支給見込額に基づき計上しております。

④退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

過去勤務債務については、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額を費用処理しております。

数理計算上の差異については、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌連結会計年度から費用処理しております。

(二) 重要な収益及び費用の計上基準

当連結会計年度に着手した工事契約から当連結会計年度末までの進捗部分についての成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

(ホ) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

なお、在外連結子会社の資産又は負債は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定及び少数株主持分に含めております。

(ヘ) その他連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

5. 連結子会社の資産及び負債の評価に関する事項

連結子会社の資産及び負債の評価方法は、部分時価評価法によっております。

6. のれん及び負ののれんの償却に関する事項

のれんについては、投資の効果が及ぶ期間で均等償却しております。なお、のれん及び負ののれんの金額が僅少である場合は、発生会計年度において全額償却しております。

7. 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない短期的な投資からなります。

会計方針の変更

①工事契約に関する会計基準の適用

当連結会計年度より、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を適用し、当連結会計年度に着手した工事契約から、当連結会計年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、この変更による損益へ与える影響は軽微であります。

②在外子会社等の財務諸表項目の換算方法

在外子会社等の収益及び費用は、従来、在外子会社等の決算日の為替相場により換算しておりましたが、当連結会計年度より期中平均相場による換算に変更しております。この変更は、在外子会社等の重要性が増したことに伴い、連結会計年度を通じて発生する収益及び費用の各項目についてより実態に即した換算を行うために行ったものであります。

この結果、従来の方によった場合に比べて、当連結会計年度の売上高は302百万円、売上総利益は144百万円それぞれ減少、営業利益は3百万円増加、経常利益は0百万円、税金等調整前当期純利益は0百万円それぞれ減少いたしました。

③退職給付に係る会計基準の一部改正の適用

当連結会計年度より、「退職給付に係る会計基準」の一部改正（その3）（企業会計基準第19号 平成20年7月31日）を適用しております。

なお、この変更による損益へ与える影響はありません。

貸借対照表

(単位：百万円)

	第93期 (平成21年3月31日現在)	第94期 (平成22年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	36,369	37,795
現金及び預金	11,215	15,474
受取手形	3,841	2,525
売掛金	14,440	13,552
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	1,545	1,388
仕掛品	433	460
原材料及び貯蔵品	2,071	1,648
繰延税金資産	884	750
その他	1,035	1,078
貸倒引当金	△ 97	△ 84
固定資産	62,759	58,989
有形固定資産	19,435	18,674
建物	9,552	10,186
構築物	285	258
機械及び装置	1,068	831
車両運搬具	4	2
工具、器具及び備品	723	560
土地	6,679	6,679
リース資産	23	74
建設仮勘定	1,096	79
無形固定資産	5,078	3,982
のれん	300	200
ソフトウェア	3,585	3,466
ソフトウェア仮勘定	1,145	278
その他	48	37
投資その他の資産	38,245	36,332
投資有価証券	3,399	3,764
関係会社株式	27,231	27,324
関係会社出資金	71	71
関係会社長期貸付金	624	522
破産更生債権等	290	280
差入保証金	853	819
繰延税金資産	2,359	1,713
長期預金	1,500	200
保険積立金	2,100	1,807
その他	150	144
貸倒引当金	△ 334	△ 316
資産合計	99,129	96,784

	第93期 (平成21年3月31日現在)	第94期 (平成22年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	15,122	14,130
支払手形	264	267
買掛金	7,902	7,588
リース債務	6	19
未払金	877	357
未払費用	1,641	1,557
未払法人税等	101	127
未払消費税等	150	93
預り金	291	283
従業員預り金	1,461	1,507
賞与引当金	1,468	1,426
その他	957	901
固定負債	4,376	3,947
長期末払金	294	182
リース債務	17	58
退職給付引当金	4,064	3,705
負債合計	19,498	18,078
純資産の部		
株主資本	79,934	78,823
資本金	18,239	18,239
資本剰余金	19,567	19,567
資本準備金	19,292	19,292
その他資本剰余金	274	274
利益剰余金	45,842	44,734
利益準備金	2,385	2,385
その他利益剰余金	43,457	42,348
建物圧縮積立金	29	28
別途積立金	10,881	10,881
繰越利益剰余金	32,546	31,439
自己株式	△ 3,715	△ 3,717
評価・換算差額等	△ 303	△ 117
その他有価証券評価差額金	△ 303	△ 117
純資産合計	79,630	78,706
負債純資産合計	99,129	96,784

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額

前期 (平成21年3月31日現在)	当期 (平成22年3月31日現在)
28,789百万円	29,949百万円

損益計算書

(単位：百万円)

	第93期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	第94期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	64,184	52,768
売上原価	40,016	32,950
売上総利益	24,168	19,817
販売費及び一般管理費	20,440	18,478
営業利益	3,727	1,339
営業外収益	807	761
受取利息及び配当金	412	380
その他	395	380
営業外費用	229	160
支払利息	15	15
為替差損	104	47
その他	109	96
経常利益	4,305	1,940
特別利益	320	29
固定資産売却益	4	10
投資有価証券売却益	12	0
退職給付制度終了益	281	—
その他	22	18
特別損失	740	52
固定資産除却損	128	12
投資有価証券評価損	510	3
投資有価証券売却損	44	—
関係会社出資金評価損	10	—
子会社株式評価損	—	36
ゴルフ会員権評価損	11	—
損害賠償損失	36	—
税引前当期純利益	3,885	1,917
法人税、住民税及び事業税	1,354	381
法人税等調整額	398	652
当期純利益	2,132	882

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

当事業年度 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)							
	株 主 資 本						
	資本剰余金				利益剰余金		
	資本金	資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 建物圧縮 積立金	別途 積立金
平成21年3月31日残高	18,239	19,292	274	19,567	2,385	29	10,881
事業年度中の変動額							
建物圧縮積立金の取崩						△ 1	
剰余金の配当							
当期純利益							
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)							
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	△ 1	—
平成22年3月31日残高	18,239	19,292	274	19,567	2,385	28	10,881

当事業年度 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)							
	株 主 資 本				評価・換算差額等		
	利益剰余金		自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	評価・ 換算 差額等 合計	純資産 合計
	その他 利益剰余金 繰越 利益 剰余金	利益 剰余金 合計					
平成21年3月31日残高	32,546	45,842	△ 3,715	79,934	△ 303	△ 303	79,630
事業年度中の変動額							
建物圧縮積立金の取崩	1	—		—			—
剰余金の配当	△ 1,991	△ 1,991		△ 1,991			△ 1,991
当期純利益	882	882		882			882
自己株式の取得			△ 1	△ 1			△ 1
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)					185	185	185
事業年度中の変動額合計	△ 1,107	△ 1,108	△ 1	△ 1,110	185	185	△ 924
平成22年3月31日残高	31,439	44,734	△ 3,717	78,823	△ 117	△ 117	78,706

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

社 名 アマノ株式会社
AMANO Corporation
本社所在地 〒222-8558
神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地
T E L 045-401-1441 (代表)
F A X 045-439-1120
ホームページ <http://www.amano.co.jp/>
創 業 1931年 (昭和6年) 11月3日
設 立 1945年 (昭和20年) 11月22日
資 本 金 182億3,958万円 (平成22年3月31日現在)
従 業 員 数 2,239名 (平成22年3月31日現在)
営 業 品 目 《企画・設計・製造・販売・施工・メンテナンス》
●情報システム事業
●時間管理機器事業
●パーキングシステム事業
●環境システム事業
●クリーンシステム事業
●エコロジー事業
●アウトソーシング事業
●時刻配信・認証サービス事業

役 員 (平成22年6月29日現在)

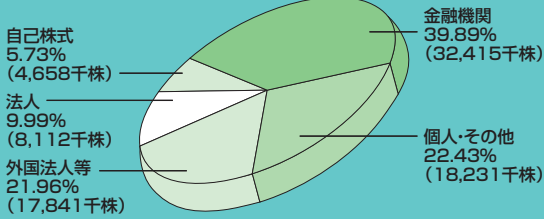
代表取締役社長	春 田	薫
代表取締役専務	山 口	彦
取締役 常務執行役員	草 薙	治
取締役 常務執行役員	小 山	利
取締役 常務執行役員	井 村	俊
取締役 常務執行役員	田 畑	信
取締役 常務執行役員	中 島	生
取締役 常務執行役員	宇 山	生
取締役 執行役員	白 石	弘
常 勤 監 査 役	上 野	敬
常 勤 監 査 役	海 野	和
監査役 (社外)	上 野	泰
監査役 (社外)	菱 山	正
執 行 役 員	今 野	直
執 行 役 員	中 田	文
執 行 役 員	野 川	健
執 行 役 員	小 堀	義
執 行 役 員	岸 野	亨
執 行 役 員	上 野	毅
執 行 役 員	赤 木	裕
執 行 役 員	寺 崎	功
執 行 役 員	井 原	邦

※監査役上野啓、菱山泰榮の両氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株 式 の 状 況

● 株式情報 (平成22年3月31日現在)
・発行可能株式総数 185,476,000株
・発行済株式の総数 81,257,829株
・株主数 19,380名

● 所有者別株式分布状況



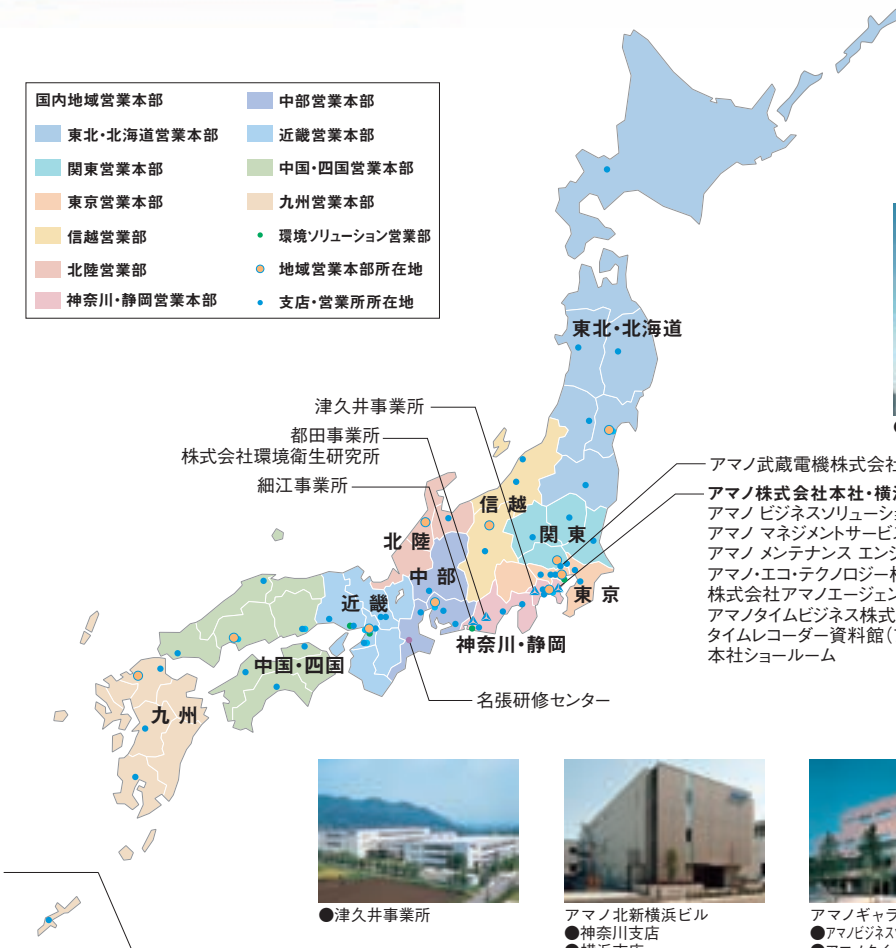
● 大株主 (上位10名)

株 主 名	持株数 千株	持株比率 %
ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー) サブアカウンタメリカンクライアント (常任代理人香港上海銀行東京支店)	7,858	10.25
第一生命保険相互会社	6,700	8.74
財団法人天野工業技術研究所	6,071	7.92
株式会社みずほ銀行	3,824	4.99
日本生命保険相互会社	3,743	4.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	3,215	4.19
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,000	3.91
東京海上日動火災保険株式会社	2,948	3.84
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシー リユーエスタックスエグゼクティブデベロップメント (常任代理人香港上海銀行東京支店)	2,632	3.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	1,962	2.56

(注) 1. 当社は、自己株式4,658千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
3. 第一生命保険相互会社は平成22年4月1日をもって株式会社化し、第一生命保険株式会社に商号変更しております。

AMANOネットワーク

国内地域営業本部	中部営業本部
東北・北海道営業本部	近畿営業本部
関東営業本部	中国・四国営業本部
東京営業本部	九州営業本部
信越営業部	環境ソリューション営業部
北陸営業部	地域営業本部所在地
神奈川・静岡営業本部	支店・営業所所在地



●札幌支店



●仙台支店



●大宮支店



●アミノ武蔵電機株式会社



●本社・横浜事業所
●株式会社アミノエージェンシー

アミノ武蔵電機株式会社
アミノ株式会社本社・横浜事業所
アミノビジネスソリューションズ株式会社
アミノ マネジメントサービス株式会社
アミノ メンテナンス エンジニアリング株式会社
アミノ・エコ・テクノロジー株式会社
株式会社アミノエージェンシー
アミノタイムビジネス株式会社
タイムレコーダー資料館(アミノ記念館)
本社ショールーム



●津久井事業所



アミノ北新横浜ビル
●神奈川支店
●横浜支店



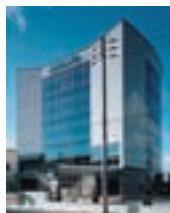
アミノギャラクシービル
●アミノビジネスソリューションズ株式会社
●アミノタイムビジネス株式会社



アミノ第2ギャラクシービル
●アミノ マネジメント サービス株式会社
●アミノメンテナンスエンジニアリング株式会社
●アミノ・エコ・テクノロジー株式会社



●広島支店



●岡山支店



●大阪支店
●アミノビジネスソリューションズ(株)
近畿センター



●名古屋支店

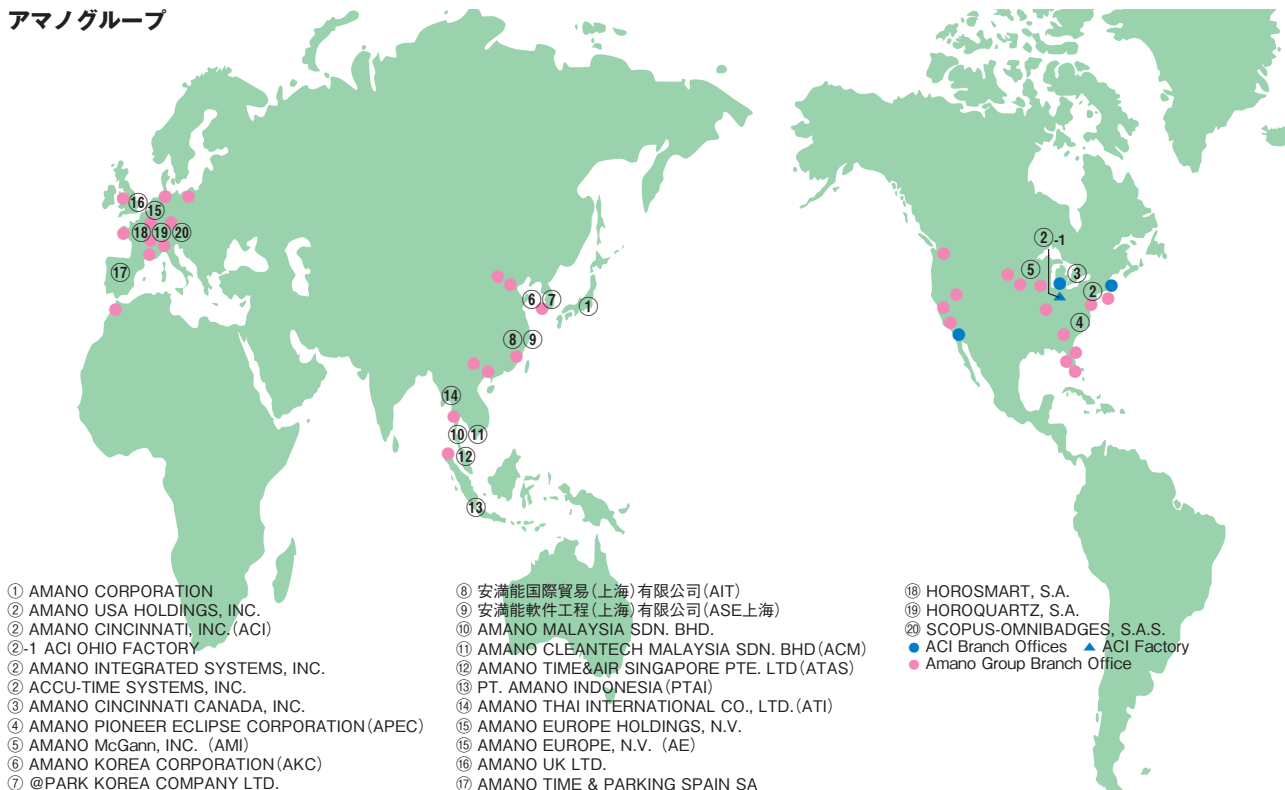


●細江事業所



●都田事業所
●株式会社環境衛生研究所

アマノグループ



高品質・高効率を実現する生産拠点

本社・横浜事業所



神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地
 TEL: 045(401)1441 FAX: 045(439)1120
 ●タイム情報ソフトウェア、駐車場機器、
 電解水生成装置 他
 ●ISO9001:2008

津久井事業所



神奈川県相模原市緑区長竹236番地3
 TEL: 042(784)7441 FAX: 042(780)7107
 ●情報システム機器、電子タイムレコーダ、
 プリント基板、プラスチック成形部品 他
 ●ISO9001:2008 / ISO14001:2004

細江事業所



静岡県浜松市北区細江町気賀8123番地
 TEL: 053(522)0951 FAX: 053(527)0002
 ●集塵機、集塵装置、掃除機、フロア清掃機、
 脱臭装置 他
 ●ISO9001:2008 / ISO14001:2004

都田事業所



静岡県浜松市北区新都田1丁目6番2号
 TEL: 053(484)1051 FAX: 053(484)1081
 ●精密金型、切削部品 他
 ●ISO14001:2004

株主メモ	
決算期	毎年 3 月 31 日
定時株主総会	毎年 6 月
基準日	毎年 3 月 31 日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。
期末配当金支払基準日	毎年 3 月 31 日
中間配当金支払基準日	毎年 9 月 30 日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 (0120) 232-711 (フリーダイヤル)
公告掲載新聞	日本経済新聞

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



本社／〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町275番地
TEL. (045) 401-1441 (代表) FAX. (045) 439-1120

<http://www.amano.co.jp/>

アマノのホームページでは最近の決算情報やアマノニュース・製品情報、国内・海外グループ会社の情報など掲載しています。



この報告書は、環境に配慮し、再生紙と植物油インキを使用しております。